【複数年度（2年目）】クルーズ船寄港地観光等外国人旅行者に対応した道の駅「なかとさ」を拠点とする情報発信強化及び周遊促進社会実験（高知県中土佐町）

1. 実験概要、留意すべき項目

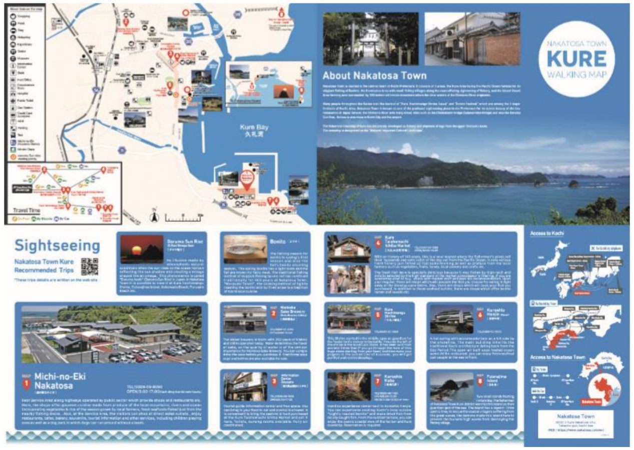
- 寄港地観光の誘致に向けた広報・PRや昨年度実施したFS調査で把握した内容に基づいて、情報発信の強化・町内移動手段の工夫・多言語対応等、安全で快適に周遊する為の各種取組を実施し「道の駅」を核とした寄港地観光ツアーの実現及びショアエクスカーションについて検証する。
- 昨年度のFS調査で抽出された課題（道の駅及び周辺施設の多言語対応、道の駅と中心市街地を結ぶ導線の安全確保等）の解決につながること。
- 外国人観光客をターゲットにしていること。

2. 実験内容、実験結果

【周遊促進策の検討、情報発信の強化】

① クルーズ船の誘致手法の検討⇒高知県内在住外国人によるモニターツアーを実施、高評価
② 道の駅「なかとさ」及び主要観光施設の情報発信の強化
　⇒外国人旅行者にとって有効で使いやすいWEBサイト（510件/月）を構築した。
③ 道の駅「なかとさ」を拠点とした周遊の促進
　⇒全旅行者が2箇所以上観光スポットを周遊、案内看板は有効に機能したが、景観や設置場所への検討、配慮が必要
④ 道の駅「なかとさ」と観光施設間の安全空間の確保⇒案内の手段、移動の手段とも高評価
⑤ 効果的なアンケートシステムの構築⇒中土佐町の外国人旅行者の誘客施策に活用できる成果を得た。

ツアーフライヤー



まち歩きマップ

案内看板

高知新聞（令和2年12月10日）

【複数年度（2年目）】クルーズ船寄港地観光等外国人旅行者に対応した道の駅「なかとさ」を拠点とする情報発信強化及び周遊促進社会実験（高知県中土佐町）

3. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
外国では通りに名称があり、マップには通り名が掲載されていることが一般的であり、外国人は通り名がないと目的地にたどり着けないため、まち歩きマップには通り名を掲載するべきである。	外国とは違って久礼には通り名がないところが多く、通り名があるところでも住民がそれを認知していないことがほとんどであるが、ご指摘のとおり主要な通りの名称は、まち歩きマップに掲載するとともに、外国人にとってマップに通り名が必須かどうかをアンケートにより確認した。
通り名の表示がまち歩きマップに必要かどうかも含め整備したツールや環境について、しっかりと外国人から意見を取るようにして欲しい。	外国人からはシステムによるアンケートとともに、対面でもアンケートを取得することとしており、今後の中土佐町の外国人観光客誘致や満足度向上に活かせるよう、アンケート調査を行った。
まち歩きマップに、中土佐ICと表記されているが、外国人にはなじみがないため、高速道路の高知自動車道の表記に変更するべきである。	外国人が多く訪れる京都市のマップやJNTO作成のマップを参考にIC表記をしていたが、ご指摘のとおり修正する。
台湾などアジアの人もモニターツアーに参加していただいてはどうか。	英語を理解できる方々を対象に募集しており、アジア圏の方々を排除しているわけではなく、できるだけアジア圏の方々にも参加していただくよう努める。
まち歩きマップの道路がどこに通じているか記載するべきである。	主要道路以外の道路で、どこに通じているか記載されていない箇所があるため、すべての道路がどこに通じているかを記載する。

4. 本格実施に向けた課題、今後の取り組み予定

課題	対応方針
見る、買うだけでなく、体験できるものがあると、滞在時間の延長につながる。	・中土佐町の魅力をさらに発信していく。 ・久礼の歴史的、文化的な説明を情報提供していく。 ・外国人の視点を加えて施策を進める。

5. 今後のスケジュール

中土佐町久礼観光の満足度、再来訪意向、誰かに薦める可能性はどの項目も非常に高い評価を得られたことから、久礼は外国人旅行者が楽しめる地域であると実証されたため、今後中土佐町の魅力をさらに発信していく予定。